

ミドリ



公益財団法人
かながわトラストみどり財団

神奈川県内で資源循環する木質バイオマス発電
初夏の小網代の森ガイドウォーク



1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。1万人を超える会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525
✉ midori@ktm.or.jp
@kanagawa_midori
facebook.com/ktm.or.jp
kanagawa_trust



表紙の写真

初夏の小網代の森 ガイドウォーク

小林優希さん、岸由二さんと
初夏をむかえた小網代の森を
散策しました。

記事▶P2へ

CONTENTS

もくじ

レジ袋有料化に伴う寄附

まいばすけっと 株式会社
株式会社 銀座コージーコーナー

1

みどりのトラスト講座

初夏の小網代の森 ガイドウォーク

慶應義塾大学名誉教授 岸由二
2021 ミス日本みどりの女神 小林 優希

2

公益財団法人かながわトラストみどり財団 令和2年度 事業報告

6

神奈川県内で資源循環する 木質バイオマス発電

10

自然へ歩

カメラを手にパワースポット・
癒やしスポットへ
参加者の写真と感想

12

財団主催イベントについて
自然観察・体験イベント
森林ボランティア

14

事務局より

もり・みず市民事業支援補助金
「2022かながわ緑の大使」募集

16

小網代の森緑地の
保全活動にご支援ください



17

会員の皆さまへ

※転居先不明で返送されるケースが増えていますが、
住所などの変更がありましたらご連絡ください。

※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト
(https://ktm.or.jp)で読むことができます。
個別の発送停止をご希望の方は財団事務局まで
ご連絡ください。

会員数 & 寄附募金のお知らせ

トラスト会員を募集しています。どなたでも会員になれます。ご支援ください！

普通会员 かながわのみどりを守り育てる
運動を支える会員です。

トラスト会員	普通会员
個人	大人 2,000円 小学生500円、中・高校生1,000円
家族	1家族 3,000円
法人/団体	1 口 10,000円

※5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。

**トラスト緑地保全支援会員
(オプション)**

普通会员の方に任意の加入で特定の緑地
を支援していただく会員です。

トラスト緑地保全支援会員		
任意加入		
個人/家族		3,000円
法人/団体	1 ☐	10,000円

財団への会費や寄附は税額控除の対象になります。

現在の会員数

(2021年6月末現在)

	普通会员	緑地保全支援会員
個人会員	3,610人	450人
家族会員	6,049人	710人
法人・団体会員	275人	30人
特別・名誉会員	314人	
計	10,248人	1,090人

遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について
関心が高まり、遺贈を受けた公益
事業を開始しております。遺言の
財産受取人として、公益財団法人
かながわトラストみどり財団をご
指定いただけます。

「かながわトラストみどり基金」への寄附状況

寄附累計額(2021年6月末現在)

14億4,663万9,465円

寄附者名(2021年4月分～6月分) (敬称略、アイウエオ順)

イオンリテール株式会社南関東カンパニー、一般社団法人神奈川県測量設計業協会、一般社団法人相模湖観光協
会、株式会社タズミ、羽鳥亨、藤崎英樹、山本勝久

「かながわトラストみどり財団」への寄附

財団へ寄附をいただきましたのでご紹介します。誠にありがとうございました。

寄附者名(2021年4月～6月) (敬称略)

芥川 真、戸沢 美津子、足立 結子、蓮見 幸雄、天原 哲也、西宮 恵子、新井 透子、荒金 美咲代、安藤 忠平、五十嵐 徹
夫、池谷 善博、池田 純子、池田 宏、磯部 せつ、井田 祐子、井上 敬孝、岩崎 伸一、宇山 妙子、大谷 真、大藤 芳樹、大
田 新一、大村 典子、坂野 亜美、小田 永子、荒 政実、鶴山 真純、加藤 沙彌子、金井 のぶ子、株式会社 横浜の飯や
本井 哲夫、川瀬 久恵、北村 幸子、木村 正江、草野 博、田松 誠、久保 幸子、佐 淑子、小網代会館、小関 祐一、小林
博明、小堀 幸生、小松 結子、斎藤 敏、齊藤 吉之、和子、坂井 敬郎、佐々木 淳、佐藤 慎典、佐藤 三郎、佐野 青子、澤
崎 俊、澤木 敏子、岡崎 えつ子、奥村 貴一、清水 紀彦、鈴木 和男、岡根 高司、祖父川 精治、高田 真子、高橋 一郎、
竹内 美穂、田島 香代子、田中 美佐枝、内野 優、内谷 尚平、長尾 聖司、永島 律子、中園 良信、中村 恵子、西澤 恭
子、岩沢 静江、ハート様、鎌谷 晴彦、羽鳥 亨、美野 英子、梅澤 千恵子、藤井 俊治、堀口 俊司、三浦 智子、三好 吉
清、安元 博美、八巻 みさ子、山口 喜美子、山ノ井 恵子、山村 宣夫、山本 勝久、山本 博真、有限会社青木商事代表
取締役 青木孝之、与儀 達彦、吉井 由里子、米田 美穂子、渡部 明

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。

レジ袋有料化に伴う寄附

まいばすけっと株式会社並びに株式会社銀座コージーコーナーより、レジ袋有料化に伴った収益金を地元還元したいという意向を受け、神奈川県内の森林整備や緑化の推進を行う「緑の募金」にご賛同いただき、令和3年6月に財団へご寄附いただきました。

////////// 感謝状贈呈 //////////

まいばすけっと 株式会社 様



(右)岩下 欽哉 代表取締役社長
(左)財団西ヶ谷専務理事

株式会社 銀座コージーコーナー 様



本社にて (左)山下 訓央 代表取締役社長

記念撮影時は一時的にマスクを外しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分に配慮して撮影を行っております。

寄附いただいた方へ
おゆずります！

ナラ枯れ対応によって生まれた薪 ～マキ寄附にご協力ください～



県内各地で猛威をふるう「ナラ枯れ」によって、トラスト緑地も例外ではなくコナラなどが枯れてしまう事態が続いています。大和市にある久田緑地において、被害木に病原菌を媒介するカシノナガキクイムシが産卵し、翌年春に大量発生するため、様々な対応策がある中、冬季に伐採及び薪型に細断することにより、冬の寒さと乾燥によって殺虫する方法を実施しました。

調査を継続中ですが、駆除の効果はあるようで、薪から新たなキクイムシの発生は見られませんでした。

そこで薪加工材として有効に活用をするため、寄附いただいた皆さまにおゆずりする取り組みを始めます。コナラは燃焼効率も高く薪には最適な樹種です。この冬に利用できるように10月から発送できるよう準備を進めています。

マキ寄附に興味関心ある方は、ぜひ財団事務局までお問合せください。寄附についてはナラ枯れ対策を含めた久田緑地における緑地保全のために使用させていただきます。

薪ストーブに
最適！



////////// マキ寄附 //////////

【寄付額】 2万円以上寄附(発送は無料)

【数量】 軽トラック1台分～(少量希望は要相談)

【新規格】 神奈川県大和市産

薪1個の長さ40cm、直径13cm前後(小サイズ要相談)
約1年程度乾燥させたもの。

【発送】 軽トラック1台分(約350～400kg)、スタッフ2名で指定場所に下ろします。

【範囲】 遠方搬送は避けるため、おおよそ大和市内及び近隣地域の方をお願いします。



軽トラック
1台分～

問合せ 財団事務局 マキ寄附担当 ☎ 045-412-2525 ✉ midori@ktm.or.jp

2021 初夏の小網代の森ガイドウォーク

散策した日 令和3年6月10日(木)

初夏をむかえた小網代の森をNPO法人小網代野外活動調整会議代表理事の岸由二さんと散策しました。聞き役は横浜出身の「2021ミス日本みどりの女神」の小林優希さんです。

引橋入口から
スタート

小林(以下文字緑色):

岸先生、今日はよろしくお願いします。

岸(以下文字黒): さっそく、この看板をみてください。



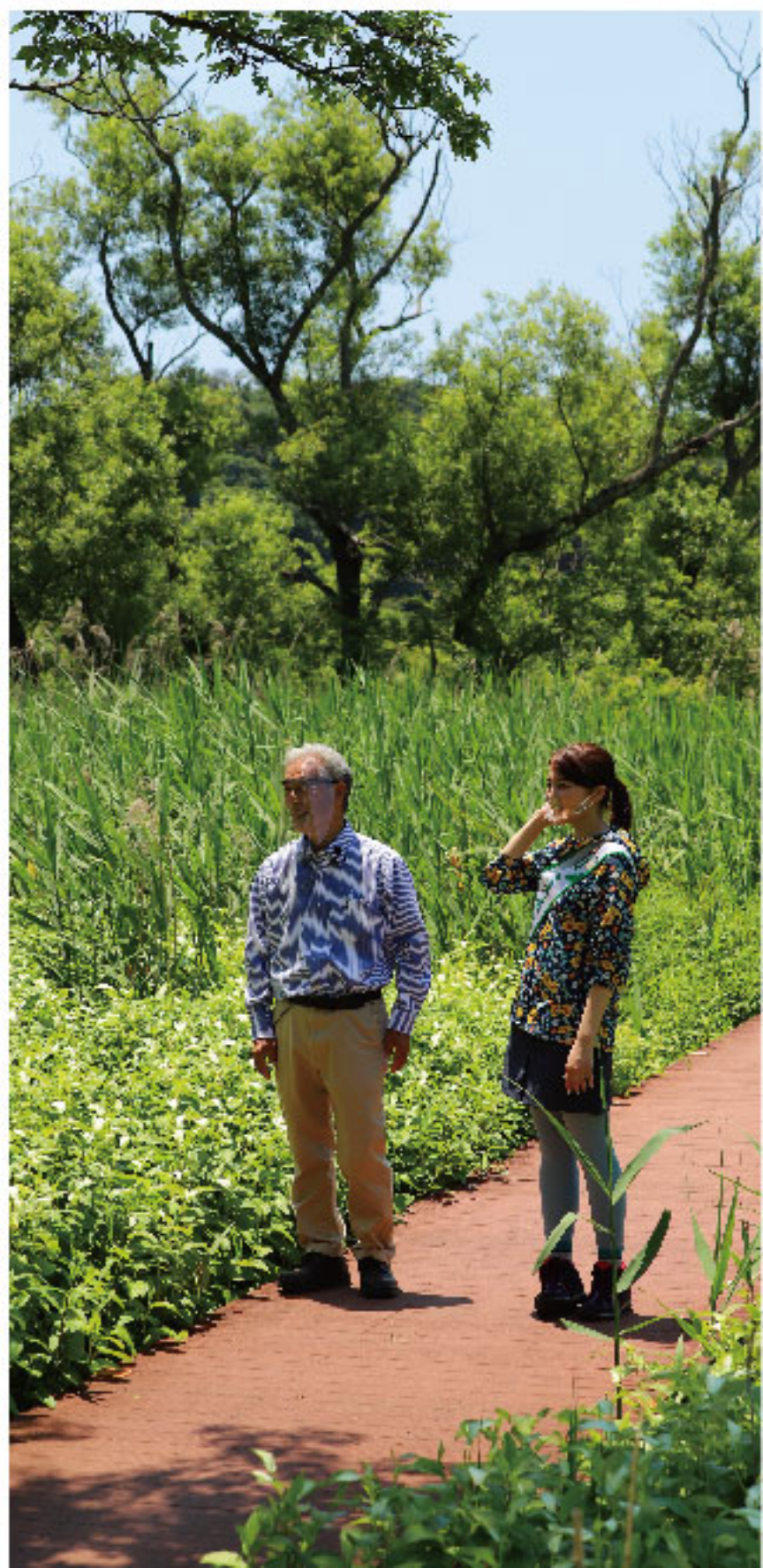
小網代の森のマップですか?

そうです。小網代の森とありまして、緑色で塗られた部分が小網代の森として紹介されていますが、実は「森」じゃない。

森じゃない?

実はこの中にあるのは、森「だけ」じゃないということです。

森もあるし、川もある、湿原、干潟をまとめて小網代の森とっているんですね。地形でいうとこれを「流域」といいます。緑色で塗られた部分に雨が降ると、それが川になって集まり海に流れるとこ





ろのことです。ここでは源流から河口まで1、2キロほどの「浦の川」があって小網代湾に注いでいますので、浦の川流域という言い方もできます。

流域で守られているんですね。

この流域全体は2005年に国土交通省が近郊緑地保全区域に指定し、神奈川県が保全用地確保等を行いました。

2011年に全域の9割ほどを近郊緑地特別保護地区に指定し、神奈川県と三浦市、財団、小網代野外活動調整会議などが連携して保全しています。

それでは、流域全体を保全することの意味を探るため、「流域」をキーワードにして散策していきたいと思います。

まず、流域を理解するには川が合流する場所をおさえることが大事なんです。合流とは本流と支流が重なることで、小網代の森は主に5ヶ所。これが面白いところなんです。川が合流するとガラッと生態系が変わるんです。

1.2キロで生態系が変わる?

川が生まれて上流、中流、下流となりますが、川の構造は全部一緒なんです。川の長さを40倍ぐらい広げると鶴見川、100倍すると多摩川。川というのは基本的に同じで小さくても大きくても構造は同じなんです。なので、自宅の庭にだって作ることもできる。

今日は話をする時間はありませんが、川が作る地形など15万年の話とかね面白いですよ。大枠のことはこの小さな流域で研究できちゃうんです。じゃあさっそく行きましょうか。

はい、よろしくお願いします。

今、チョウやトンボのにぎやかな季節がひと段落して、夏の生きものに切替え中なので、少し静かですね。鳥も求



愛のさえずり時期も終わって、子育て真っ最中だからいつもより静かですね。

…少し聞こえるね。今鳴いている声で鳥の種類がわかりますか?

「ホー ホケキョ」これウグイスですね。

「グジュ・グジュ・グジュ……」

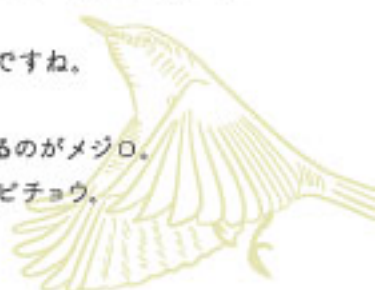
鼻が詰まったような鳴き方をするのがメジロ。

大きな声で主張してくるのがガビチョウ。

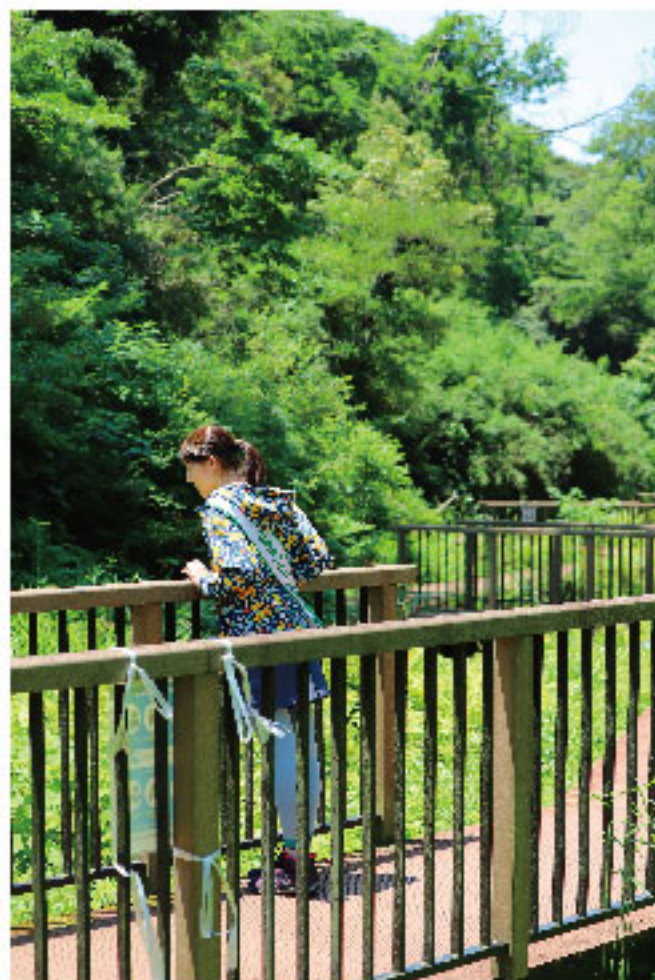
わーすごい!

一般の方は、あ～きれいな鳥の声いいな。自然いっばいいいな～。で終わってしまいがちですが、自然が大好きな人間は、鳥の種類もわかるし、ここにある植物も全部わかっていて、見えている景色、感覚が全然違うんですね。季節のうつろいや、植生や動物のちょっとした変化を敏感に感じながら歩くんですね。

そうなんですね。



アスカノイダが広がる上流部



第1合流点

引橋の入口
から長い階段を
降り終えて

今長い階段を降りてきましたが、ここが一つの流域なんです。階段の両脇に急な斜面があって、その窪地を降りてきたわけです。草で覆われていて見えませんが、斜面に降った雨が集まって流域を形成して、階段の降り口あたりで合流しているんです。

でも本流はもう少し行った先です。少し進みましょう。

少し進んで

ここがそのポイントですか？

第1合流点といいます。ここ奥が深い谷になっていて、立入はできませんが源流が生まれる場所です。そこから本流が流れ出し、先ほどの階段の支流とここで出会う。

2つの川が合流することで、流れる水の量が倍になり、流れによって削られた土も少しだけ多く積もります。階段



第2合流点のハンノキ林

だったところと比べて、谷底が少しだけ平らになって歩けるようになりましたね。すると植生も変わって大きなシダ植物がたくさん見られるようになります。

ほんとに大きいですね。

アスカイノデといいいます。大きな植物で強そうに見えますが、20年ほど前は人の背丈ほどのササに覆われていて数が少なくなった。それを我々がササを刈るなど、手入れ活動を開始したので増えつつあります。

その昔、斜面が薪炭林として利用されなくなった少し後、30年くらい前の写真が残っていて、シダはその斜面の薄暗がりの部分に多く生えていました。

昔のように手が入ることでシダの森になったんですね。

ああいう状態に戻せるかどうかですね。今、谷底で元気に生長して、胞子によって新たな子が谷上に上がっていくんですね。移植じゃなくて、促すだけです。

ササを管理することが重要なんですね。

ササを刈ることも大事ですが、すぐ伸びてきてしまいます。田んぼや水路の構造を理解し、少しだけ水にお手伝

いしてもらって、低コストで維持管理しやすい環境に促していけます。

まんなか湿地
より少し上流

さあ、第2の合流点に着きました。

こちらも大きな谷戸からきた支流が合流して、より泥や土砂が流れ出るため、谷底が厚く堆積し平坦な部分がより広がり、その下を地下水が流れる湿った土地です。そこでこの合流点から水の大好きなハンノキが登場です。ハンノキは湿原を好む数少ない落葉樹で、神奈川ではかなり珍しい林です。

きれいな森ですね。

葉を樹冠につけて、20mまでスラッと伸びる樹木なので特徴的な森を形成しますね。

さて、ボードウォークは引橋入口からえのきテラスまで一本道で、かなりのボリュームの自然景観を眺めることができますが、引橋入口の看板にあった全体図を思い出してください。ボードウォークから見られる部分はおよそ3分の1なんです。全体の緑地面積約70haの規模は、ボードウォークのからの眺めの約3倍あることになります。

さて、まんなか湿地のなかほどに3番目の合流点があります。

川の状態が見えづらいですね。

ボードウォークからはちょっと見えにくいですが、湿地の奥にフクロウがすむ谷戸があり、その支流と合流しています。そこで平坦な部分がまた大きく、盆地となって水量が増えた状態になります。

すると、もうハンノキはなくなりました。絶妙なバランスで生態系を形成しているのがわかりますね。そして、次に登場するのがヤナギの仲間のジャヤナギです。

この木も水が大好きなのですが、湿地で地盤がゆるくて倒れても大丈夫な樹木なんです。



ジャヤナギ

面白い木ですね。倒れても大丈夫とは？

倒木更新っていいです。湿地で地盤がゆるくても傾斜したり、倒れても懲りずに枝葉を伸ばし繁茂していきます。もし地面に倒れたら、それが栄養となって倒れたところから10本20本って次の世代が成長していくことをいいます。古い時代に大陸からやってきた木で、メスの木しか日本にはないのですが、枝木が折れやすく、折れて地面に着地したところから根を張って生長していく面白い樹木です。

合流点でここまで植物層が一変するんで驚きです。

土と水の状態で一変するんですね。ここまで3回合流して広い窪地が形成され、だいたい中流までできましたね。このまんなか湿地は春にはゲンジボタルが飛び交う場所です。

さあ、ここから湿原に出るぞ～。

この記事は、みどりのトラスト講座「6月10日(木)初夏の小網代の森ガイドウォーク」公開動画に収録された解説を記事スタイルに加工・編集したものです。

後編につづく

プロフィール

さし ゆうじ
岸 由二

慶應義塾大学名誉教授。専門は進化生態学、流域アプローチによる環境保全、都市再生、環境教育など。新著に『生きのびるための流域思考』(くまブリーク新書、2021)など

こばやし ゆうき
小林 優希

2021「みどりのトラスト」の女神、みどりのトラスト、神奈川県出身



令和2年度

期間:2020年4月1日~2021年3月31日

公益財団法人かながわトラストみどり財団 事業報告

1985年からかながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を開始して36年目を迎えました。これらの運動を一層推進するため、大きく5つの事業において様々な課題に取り組みました。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントや研修会を中止や縮小せざるを得ない中、インターネットを活用したライブ配信を行うなど、新たな情報発信方法を模索しながら事業に取り組みました。

1 普及啓発事業

みどりを守り育てる運動を県民や企業に周知し、みどりのトラスト会員への登録推進やかながわトラストみどり基金への募金、かながわのナショナル・トラスト運動への参加促進を図りました。

主な
取り組み

▲ かながわ緑の大使がイベントでPR活動(新規事業)

若い世代から同世代へ向け、財団が実施するトラスト運動などを広く情報発信してもらうため、中高生2名が任命されました。



自然観察会で基金活動

▲ インターネットを活用した普及啓発(新規事業)



自然観察会事業では、人数や短制限等を講じるなどの対策を行う一方、インターネットを活用した配信事業を実施しました。恒例の小網代の森でのアカテガニ放飼観察会もオンラインでライブ配信するほか、「みどりのトラスト講座」としてYouTube専用チャンネルを開設し、果樹剪定や野鳥観察など6講座を公開しました。

▲ その他の取り組み 機関誌ミドリの発行、トラスト運動PRチラシ等作成、WEBサイトの充実、自然観察会等、会員に関する事業、緑化協力金制度の運営



ミドリ117号



ミドリ118号



ミドリ119号



ミドリ120号

2 地域緑化活動事業

県内各地域の特色を生かした緑化やみどりの魅力を創出するため、活動団体への助成や研修会を行いました。また、かながわのみどりや森林におけるパワースポット、癒しスポットを新たに選定し、フォトラリーを開催しました。

主な
取り組み

▲ かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒しスポット

神奈川県内のまだ知られていない魅力あるみどりのパワースポット10ヶ所、癒しスポット26ヶ所を選定しフォトラリーを開催しました。

▲ みどりの実践団体

地域のみどりや身近な自然を守るために活動している自治会や市民団体を「みどりの実践団体」として登録し、交流会や研修、助成金等による支援を行っています。

また、県内8団体に樹木医など専門家を派遣し、研修会を開催しました。



多摩緑地保全地区こもれびの会(実践団体研修会(測定方法とナラ樹)11月)



生田緑地古墳の杜民会(植樹場所の整備作業6月)

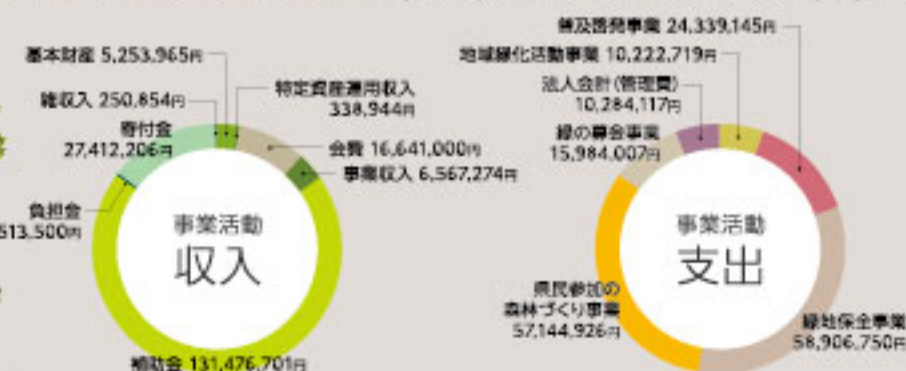
\\ みどりの実践団体に加入しませんか? //

町内の花壇の手入れ、公園の管理、里山の保全活動などを行っている緑化ボランティア団体をみどりの実践団体として支援します。お問い合わせや資料請求などは財団までご連絡ください。

- 奨励金交付
(登録初年度及び二年度に15,000円)
- 研修会やイベントなどの案内送付等

- 対象団体
- ① 緑化活動の普及活動
- ② 公共施設等の植樹または育成の実施
- ③ みどりのパトロールの実施
- ④ 財団及び公共機関等が実施する緑化事業への協力

令和2年度 (令和2年4月1日~令和3年3月31日) (公財)かながわトラストみどり財団決算報告



事業活動収入 1億8,845万円
事業活動支出 1億7,688万円
収支差額 11,572,780円

収支差額11,572,780円であり、その大半は当年度に受けた大口寄附等の収入であり、今後特定資産として計画的に取崩し、公益事業の財源として管理及び使用していきます。

3 緑地保全事業

かながわのナショナル・トラスト運動は英国で発展した運動をモデルとして、県が設置する基金と運動体となる財団が連携して、都市近郊で開発されやすい緑地を守り育てる運動です。基金による買い入れや寄贈は神奈川県が行い、土地所有者との保存契約による保全は財団が担う、県と財団が両輪の役割を果たす神奈川方式ともいえるナショナル・トラスト運動です。

主な取り組み

小網代の森保全活用対策協議会

地元小網代区、県市、有識者、活動団体、財団等で構成する協議会で小網代の森の保全対策、利活用の検討及び管理活動について書面にて協議しました。

トラスト緑地の保全支援

自主的に保全活動にあたる小網代の森、久田、桜ヶ丘、葛葉緑地の4団体に対して、トラスト緑地保全支援事業として会費や寄付金を財源に活動費を助成しました。

今年度から葛葉緑地が新たに加わりました。

その他の取り組み 市町村の緑地等指定事業への助成、蟹田沢の保全

保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地(秦野市)、久田緑地(大和市)、及び大崎緑地(逗子市)の自然環境の保全のため、樹木の管理、土留柵の設置及び看板整備等の適正な管理に努めました。



株元から四方に伸びた
株立ちのコナラ(20):
ナラ枯れが進行したため
倒木する前に伐採を行った。



ナラ枯れの病徴であるフラス(木腐)が
見られるコナラ

保全緑地



県西地域

- 1 箱根仙石原緑地 (2.53ha) (0.63ha)
- 2 箱根小栗山緑地 (0.25ha)
- 3 塔ノ沢緑地 (0.83ha)
- 4 大井町栗山緑地 (1.24ha)

湘南地域

- 5 葛葉緑地 (0.56ha) (5.64ha)
- 6 大磯こゆるぎ緑地 (0.17ha)
- 7 川名緑地 (2.64ha)

県央地域

- 8 厚木上信知鬼ヶ谷緑地 (1.95ha)
- 9 下清緑地 (0.10ha)
- 10 東林ふれあいの森緑地 (0.50ha)
- 11 泉の森緑地 (0.21ha) (2.76ha)
- 12 久田緑地 (2.25ha) (0.94ha)
- 13 谷戸頭-谷戸緑地 (0.14ha)

川崎・横浜地域

- 14 桜ヶ丘緑地 (1.20ha)
- 15 日吉本町緑地 (0.03ha)

三浦半島地域

- 16 鎌倉広町緑地 (1.59ha)
- 17 鎌倉坂ノ下緑地 (2.35ha)
- 18 鎌倉今泉緑地 (0.11ha)
- 19 台峯緑地 (0.52ha)
- 20 大崎緑地 (1.75ha)
- 21 長柄緑地 (1.52ha)
- 22 葉山堀内緑地 (0.19ha)
- 23 葉山一色緑地 (1.06ha)
- 24 葉山海の坂緑地 (5.13ha)
- 25 一色台緑地 (0.45ha)
- 26 長者ヶ崎緑地 (1.07ha)
- 27 秋谷緑地 (0.92ha)
- 28 小網代の森緑地 (8.31ha) (10.40ha)
- 29 三浦金田緑地 (0.25ha)

■ 県による買入 ■ 財団の緑地保存契約 ■ 県による寄贈等の買入れ (令和3年3月現在)

4 県民参加の森林づくり事業

森林とのふれあいを通じて森林の公益的機能や水源林としての大切さを実感できる機会を提供するため、森林づくりボランティア活動や学校が行う森林学習支援として森林インストラクターの派遣事業などを行いました。

主な取り組み

森林インストラクター活動

ボランティア活動の指導者的役割を担う神奈川県森林インストラクターを企業・学校等が行う活動へ派遣するほか、インストラクターのブラッシュアップ研修等を行いました。



川崎市麻生区栗木(竹林整備)



南足柄市萩原(緑化)



箱根町新宮(緑化)



小学校での環境体験



森林学習講演

ボランティア活動の推進

財団主催の森林ボランティア活動を企画運営するほか、小中高校生及び企業団体の森林体験活動への指導者派遣や用具の貸し出しを行いました。ボランティア参加者数は3,496人でした。

その他の取り組み

森林づくり普及啓発、成長の森の造成、森の案内人事業等

5 緑の募金事業

緑の羽根募金として知られる、森林整備や緑化の推進のための募金活動です。街頭募金や各公共施設への募金箱設置、企業団体などの協力をお願いしました。



主な取り組み

地域緑化の推進

学校緑化の支援や地域住民が自主的に行う植樹活動への助成、丹沢大山地域の保全支援等を行いました。

緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクレーション活動等を行う「緑の少年団」の育成強化と活動支援を実施しました。

その他の取り組み 緑化運動・育樹運動コンクールの開催、ちくりん号の竹林整備等支援、(公社)国土緑化推進機構等との協力事業等



ちくりん号の整備会



神奈川県内で資源循環する 木質バイオマス発電

前回(ミドリ120(2021春)号)は間伐材を利用したバイオマス発電用チップを取り上げましたが、今回はそのチップを利用した施設について紹介します。

横須賀市追浜に、剪定・伐採された樹木を積んだ大小様々なトラックが頻りにやってくる発電所があります。前回取り上げた間伐材チップも大型のトラックによって運ばれてきています。

2019年11月に本格稼働が始まって2年目になる株式会社タケエイグリーンリサイクル横須賀バイオマス発電所の安倍誠専務に話を伺いました。

事業の紹介

弊社は、関東・甲信地方における公園や街路樹の管理で排出される剪定枝等一般廃棄物や、建設現場から出る木質系産業廃棄物を受け入れ、燃料チップあるいは堆肥化を行う事業体です。

間伐材を用いて燃焼させる発電施設については、別に東北地方に4か所(津軽、花巻など)あり、豊富な森林資源を主な燃料としているのに対し、ここ横須賀では、小規



模な都市排出の木質資源を活用する「都市型バイオマス発電」を確立させる重要な施設となっています。

都市型発電というのは

ストックヤードを見ていただけるとわかりますが、伐採木や剪定枝といった生木や、伐根された切株などを引き取っています。これは横須賀周辺の公園や緑地管理を手掛ける造園関係機関と契約を結び、こうした都市域から出る樹木廃棄物を集積し、資材として活用・循環させる仕組みです。これまで樹木廃棄物は焼却処分され、価値の無いものとして取り扱われていました。

そこで、木質バイオマスに特化した低コストの発電を、都市域の小スペースで行う都市型発電を実現させました。そして、発電した電気は固定価格買取制度(FIT)を通じて、地元の公共施設や企業などに売電され、木質資源の調達から、電気の使用までを都市域内で循環させ地産地消しているのです。

さっそく発電所見学

ここが木質チップ破砕施設です。剪定枝や切り株など

種類に分けて貯蔵し、別々にチップにしています。ただし、木質ならなんでもいいというわけではなく、例えばシュロの木は皮が繊維質で機械に絡むため受け入れできません。

また、近隣市町村との包括協定もっており、台風災害時に排出される倒木など災害廃棄物の受け入れも行っています。

資材を燃焼させるに



奥がチップにする前の枝葉、手前が間伐材チップ、右の機械から粉砕機に運ばれる

は、資材の中の水分量が大きく影響しますので、生木や泥のついた切株など水分が多い資材でも高熱で安定的に燃焼させ続けることが課題です。

そこで、県森連から運ばれる^{がんすいりつ}含水率の低い品質を持つ間伐材チップを投下することで、燃焼効率を上げることができるのです。

一般的には、石炭等の化石燃料や、輸入されてくるパーム油やヤシ殻などを燃料とする発電方法がありますが、当所では間伐材チップ等の木質バイオマス100%の循環型発電を目指しています。

発電施設へ

先ほどの木質チップが貯蔵庫からベルトコンベアで運ばれてボイラー内に投下されます。木質バイオマスは様々な異物が混入している場合がありますが、安定的な燃焼をさせないといけません。そこで「バブリング流動層ボイラー」を採用しています。

ボイラー内に砂が入っており、700度付近の温度で砂を流動化させることにより、投入される質材を高熱のまま安定的に燃焼させることができます。

また、このボイラーは他と比較して小規模なものです。高熱を維持させるため、ボイラーに送る空気を先に加熱する空気予熱器も完備するなど、燃焼効率を高める工夫がされています。

そこから生み出された蒸気でタービンを回し、生まれた電気は施設内の変電所を経て東京電力に行きます。

発電量は

年間約8万トンの木質バイオマスが使用され、1時間あたりに換算すると約10トン。ほぼ毎日稼働して発電にあたっています。出力は6,950キロワットで、一般家庭の約1万5000世帯の年間消費電力量に相当します。バイオマス発電はクリーンな電力です。化石系燃料と比較すると二酸化炭素(CO₂)排出量を年約23,000トンの削減できるといわれています。



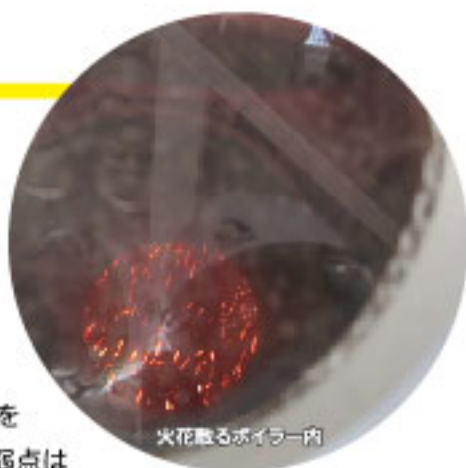
チップの品質を確認する係員たち

さいごに

最近のバイオマス発電は一般的に山間部に多く建設されますが、我々は都市から出る剪定枝や伐採木を使い、その安定燃焼材として間伐材チップを使います。バイオマスの弱点は燃料の確保にあります。継続的な燃料投入が必要で、これまで廃棄物扱いしていた木質バイオマスを活用するという新たな資源活用が、地域活性化にもつながっていくと考えています。また山間部においては、これまで低利用だった間伐材を活用することで、林業の活性化にも寄与できたらいいですね。

三浦半島は都市域でありながら、海も山もある自然豊かな場所なので、森林資源を上手に活用し自然の恵みを感じられる発電事業に引き続き取り組んでいきたいと思っています。

取材・文：財団事務局 豊崎



火花散るボイラー内



発電施設の全景。右上のコンベアでチップを運び入れ、燃焼させてタービンをまわす

カメラを手にパワースポット・癒やしスポットへ

県内の魅力あるみどりのスポットを後世に伝え守っていくために「かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポット」36箇所を選定し、新たなみどりの発見や癒やし体験につながるようフォトラリーを実施しました。令和元年11月1日から令和3年4月30日まで、多くの皆さまから申し込みをいただきました。

参加された方々からは、感想等を数多くいただきました。寄せられた写真と感想の一部を紹介します。

癒やしスポット No.18

泉の森【大和市上草柳】



2020.3.26 泉の森 しらかしの池 西山崎さん

「引地川の源流、水の豊かさに森の豊かさを感じました」
「住宅地に隣接しているが、一旦公園の中に入ると大自然の中に誘い込まれる感じがした。心癒やされる場所であった」

癒やしスポット No.12

新治市民の森【横浜市緑区新治町】



2020.6.21 新治市民の森 西山崎さん

「檜林と竹林の尾根道は起伏に富んだオアシスでした」
「谷戸田の風景に私の子供の頃の故郷の風景が重なりました」
「様々な樹木と野草が繁茂し都市近郊とは思えません」

癒やしスポット No.11

舞岡公園【横浜市戸塚区舞岡町】

「雨上がりの朝、広大な雑木林、田園の中で鳴く小鳥に癒やされました」
「池で相撲を取っているカッパに癒やされる」
「初めて訪れた公園ですが、静かで落ち着いた雰囲気良かったです」



2019.11.11 舞岡公園 白福亀さん



2019.11.11 舞岡公園 白武田さん

癒やしスポット No.19

相模三川公園【海老名市上郷】

「大山をはじめとした丹沢山系の山々が目の前の相模川の河川敷と一体化し雄大な景色を構成し、この大自然を前にしての一時は何ものにもかえがたいものであった」



2020.12.4 相模三川公園 白中島さん

「家から近い場所にこんないい所があるとは知りませんでした。小鳥もいっぱいおり、シジュウカラを見ることができました」

癒やしスポット No.27

夕日の滝

【南足柄市矢倉沢】

「水量もありとてもきれいな滝でした。今度は夕日の時間帯に行ってみたいです」
「偶然、滝行をやっている方に出会い感動」
「雄大な中に優しさを感じる滝でした」



2020.10.8 夕日の滝 白中島さん

▲ パワースポット No.4
霧降の滝【平塚市上吉沢】

☑「水量は多くないが、岩に添って流れる滝にパワーを感じました」
「丸味をおびた岩にパワーを感じました」



2020.4.8 霧降の滝「ゆるぎの壁きり」白山崎さ

▲ パワースポット No.10
中川の箒杉【足柄上郡山北町寄】

☑「箒杉バス停で降りると、圧倒的な生命力に溢れた巨木が視界に飛び込んできました。とにかく立派に太くて、ガイドブックで見えていましたが、実際眼前にするとすごい迫力でした。また、道を下ってすぐ近くに箒杉の水がコンコンと湧き出ています。クセのない軟水でとっても飲みやすいです。お土産にペットボトルに汲んで持ち帰りました」



2020.11.22 中川の箒杉 白小島さ



2020.6.27 中川の箒杉 白重田さ

自然へ一歩

▼ 癒やしスポット No.23
葛葉緑地【秦野市曾屋】

☑「緑地と台地を刻む谷に感動」
「豊かな樹林に覆われた緑地の先に見える大山に感動」
「緑地帯の中から聞こえる小鳥のさえずりに癒やされました。次回は鶯が飛び交う季節に來たいです」



▼ 癒やしスポット No.33
洒水の滝・河村城跡コース【足柄上郡山北町平山】

☑「森林環境を利用した森林セラピー良かったです」
「いきなりの階段でも落差の滝に癒やされ、自然豊かな山北を楽しみました」



2020.3.29
河村城跡本城郭 白福亀さ



2020.3.29 洒水の滝 白福亀さ

☑ フォトラリーに参加して

「コロナ禍で屋内施設には行けないので、このフォトラリーを知り参加しました。県内にこんないいところがあることを知らず、様々な場所を知ることができました。行った先々で小鳥の声を聞き、興味が湧き小鳥の写真を撮り始めました。これからまだ行ったことのないスポットに行ってみたいと思います」

28箇所のスポットを巡って…

「手始めに紹介されている順番にと本牧山頂公園を訪れる。36箇所の中で、17箇所は何回か訪れた場所ですが、自分の足で歩くと同じ場所とは思えない景色や新しい出会いに感動し、2度3度と足を運んだ場所も10箇所以上。四季折々の草花に目を奪われ、そして静けさの中で小鳥のさえずりに癒やされ、樹齢何百年以上といわれる巨木を見てパワーをもらい、明日への糧に出来る事まちがいなし。楽しい企画に感謝です。みどりの魅力を引き立てる草花、そして森林を守る人々の維持、管理に、私は少しでも協力していきたいと思った次第です」

新たなみどりスポットを発見できたでしょうか。ぜひ、これからもパワースポット・癒やしスポットを巡ってみてください。
(事務局)

令和3年度
～2022.3/31

森林ボランティア

内山 南足柄市 県立21世紀の森

10月24日 竹林整備

予備日: なし 50人(決断) 受付: 8/1～

【集合】県立21世紀の森駐車場
9:30
※自家用車駐車場はあります

【共催】21世紀の森指定管理者
【行程】自家用車等にて現地集合・解散。



芹沢 茅ヶ崎市 県立茅ヶ崎里山公園

11月10日 除伐

予備日: 11/11 100人(決断) 受付: 9/1～

【集合】県立茅ヶ崎里山公園パークセンター前
9:00
※南足柄駅及び茅ヶ崎駅からバス(茅ヶ崎駅入口)まで
※内山線南足柄駅が近いです(南足柄駅)までお越しください
※ボランティア駐車場あり(PM)

【共催】(公財)神奈川県公園協会
【行程】路線バス・自家用車等にて現地集合・解散。



仙石原 箱根町 町有林

11月20日 植栽

予備日: 11/21 100人(決断) 受付: 9/1～

【集合】JR東海道線 小田原駅
小田原駅西口 8:30
箱根町仙石原浄水センター駐車場 9:30
※バスで移動 ※自家用車駐車場はあります

【共催】箱根町
【行程】小田原駅(専用バスで移動)→現地→
箱根東原ホテル→小田原駅 ◆昼食後温泉入浴



千村 茅野市 県立高山

11月28日 除伐

予備日: なし 50人(決断) 受付: 9/1～

【集合】小田原線 茅野駅南口
8:30
※専用バスで移動
※自家用車駐車場はあります

【共催】茅野市
【行程】茅野駅(専用バスで移動)→現地→茅野駅



比奈座 中井町 中井中央公園

12月5日 除伐

予備日: なし 70人(決断) 受付: 10/1～

【集合】小田原線 茅野駅南口 8:30
中井中央公園野球場脇駐車場 9:00
※専用バスで移動
※自家用車駐車場はあります

【共催】中井町
【行程】茅野駅(専用バスで移動)→現地→茅野駅



中央区田名塩田 相模原市 市有林

12月11日 除伐

予備日: 12/12 100人(決断) 受付: 10/1～

【集合】小田原線 本厚木駅南口 9:00
※専用バスで移動
※自家用車駐車場はあります

【共催】相模原市 (公財)相模原市まち・みどり公社
【行程】本厚木駅(専用バスで移動)→現地→
本厚木駅



【共通事項】

- 神奈川県森林インストラクターが指導します。
- 現地に駐車場はありません。ただし「車」マークのあるイベントのみ、車でお越しいただけます。
- 「心」マークのあるイベントは、昼食後に温泉入浴ができます。
- 「山」マークのあるイベントは、活動地まで30分程度徒歩で移動します。
- 雨天の場合、中止や延期する場合があります。当該活動ページにてご確認ください。

※写真はすべてイメージです

麻生区栗木 川崎市 栗木山王山特別緑地

12月22日 竹林整備

予備日: 12/23 50人(決断) 受付: 10/1～

【集合】小田原線 栗平駅南口
9:00
※自家用車駐車場はあります

【共催】(公財)川崎市公園緑地協会
【集合】川崎市
【行程】栗平駅(徒歩15分)→現地→現地解散



多摩区菅北浦 川崎市 菅北浦緑地

2022年 1月15日 除伐

予備日: 1/16 100人(決断) 受付: 11/1～

【集合】JR南武線 稲田堤駅
9:00
※自家用車駐車場はあります

【共催】(公財)川崎市公園緑地協会
【集合】川崎市
【行程】稲田堤駅(徒歩10分)→現地→現地解散



西小園 大磯町 個人

2022年 2月5日 竹林整備

予備日: 2/6 100人(決断) 受付: 12/1～

【集合】JR東海道線 大磯駅南口
9:00
※自家用車駐車場はあります

【共催】大磯町
【行程】大磯駅(徒歩30分)→現地→現地解散



申込方法 県民参加の森林づくり

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団 みどり森林課
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20
☎ 045-412-2255 ☎ 045-412-2300
✉ midori@ktm.or.jp ☎ www.ktm.or.jp

【申込方法】申込は各活動月の2ヶ月前の1日から活動日の1週間前までをお願いします。活動内容をご確認の上、●参加希望日●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号●森林整備活動登録番号をお持ちの方は登録番号を明記して、ハガキ・電話・FAX・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。※集合時間が8:30～9:30までありますのでご注意ください。【雨天の場合】予備日のある場合は延期、ない場合は中止。【実施の可否の確認方法】実施日前日の18時以降に、電話(045-412-2255)で確認ください。録音テープでご案内します。【活動内容】服装や過去の実施状況をWEBサイトに掲載しております。ご参考にして下さい。

参加のための注意事項 話をするときはもちろん、原則マスク等持参・着用、人との距離をとる。

- ☑ 風邪の症状がある
- ☑ 過去48時間以内に発熱の症状がある
- ☑ 倦怠感(だるさ)や咳、痰、胸部に不快感がある
- ☑ 味覚、嗅覚に違和感がある
- ☑ 両家族や身近な知人に感染症が疑われる人がいる
- ☑ 過去14日以内に海外への渡航履歴がある
- ☑ その他、新型コロナウイルス感染の可能性がある



水源環境の保全・再生の
活動をされる方へ

令和4年度

もり・みず市民事業 支援補助金

水源環境の保全・再生を目的とした活動をされている団体を対象にした神奈川県補助金制度を紹介します。森林や河川、地下水の保全や間伐材の活用など、もり・みずに関わる活動に財政的な支援を行うものです。主に県内の水源保全地域が対象ですが、環境教育や調査などは県内全域が活動範囲です。

受付期間

令和3年11月18日～11月26日まで

詳細については県ホームページで確認いただくか、
水源環境保全課までお問い合わせください。

【☎ 045-210-4358】



間伐材の利活用促進事業



特定非営利活動法人

足柄丹沢の郷
ネットワーク



間伐材を活用した
グリーンウッドワーク
暮らしのものづくりの作品



聖山の炭焼き
体験の様子

なかい里山研究会



「2022かながわ緑の大使」募集

公益財団法人かながわトラストみどり財団では、「2022かながわ緑の大使」の募集を行います。かながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を広く県内外に発信し、共に活動してくれる若い世代からのご応募をお待ちしています。

活動内容について…
基金活動や竹林整備、県民参加の
森林づくりのお手伝いをしています。
活動を通して、多くのことを学び、
緑地保全や森林づくりが私たちの
生活にとても大切な役割を果たしている
ことを情報発信しています。
ぜひご応募ください！



2021 かながわ緑の大使

- 応募資格** ・中学生1年生から20代の社会人までの男女
・神奈川県に在住、もしくは通勤、通学している方
・当財団事業について、理解し、財団の事業活動に協力してくれる方
- 募集人数** 若干名
- 募集期間** 令和3年10月1日(金)～11月30日(火)必着
- 任期** 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
- 応募方法** 所定の応募用紙に必要事項を記載のうえ、郵送してください。
※応募用紙は財団にお問い合わせください。または、財団HPから入手できます。
- 選考方法** ・書類による一次選考を行います。
選考結果は12月中旬までに応募者全員に通知、
一次選考通知者には二次選考会の案内を同封します。
・二次選考会…12月26日(日)面接。
・選考会場…神奈川県横浜西合同庁舎内を予定
※ご記入いただいた個人情報、かながわ緑の大使の選考以外には使用しません。
また、提出書類の返却はできません。

問合せ・申込先 (公財)かながわトラストみどり財団 かながわ緑の大使係
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎6階
☎ 045-412-2525 ✉ midori@ktm.or.jp



神奈川の自然環境を次の世代へ引き継いでいくために

かながわの未来に、 いまできること

小網代の森 の 保全活動のために



三浦半島の先端にある小網代の森は、アカテガニやゲンジボタルなど、多くの生きものが棲む自然豊かな森です。緑地内を流れる「浦の川」は、源流から河口の干潟まで人工物で遮られることなく、森の豊かな恵みを、干潟、そして海へと注いでいます。

湿地回復作業や 子どもたちの 環境学習の ために



ゲンジボタル▲

アカテガニの卵▲

小網代の森は、「NPO法人小網代野外活動調整会議」によるボランティアの自然再生活動が行われています。

人の手を離れて50年近く経つため、活動が始まるまでは、谷戸の斜面の樹木が繁茂し、森の中はうっそうとしていました。また、森の中央を流れる「浦の川」にも日照が入らず、水系の生き物が棲みづらい環境でした。

そこで、財団による助成のもと、平成19年から水系調査を行い、適正な樹木管理を行うほか、乾燥化が著しい平地の湿地回復作業や外来植物除去作業を進めています。今後も、さまざまな自然再生や維持管理を行うため、多くの皆さまに会費や寄附のご支援の協力をお願いしています。

同封の振込用紙の取扱いについて 小網代の森緑地の保全活動にご支援ください。

付属の振込用紙で、郵便局の窓口やATMで手続きできます。



- ① 本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費の振込には使用しないでください。
- ② 振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③ 領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄に☑をお願いします。

(公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税、法人税の控除が受けられます。

同封の振込用紙の 取扱いについて

- ① 本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ② 振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③ 領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄に☑をお願いします。

(公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

所得税・住民税の優遇措置について

(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算はいずれかを選択することができます。

① 税額控除(所得税)

● 所得税の減少分
(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

● 住民税の減少分
県民税(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

(②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

② 所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税 相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

WEBサイト

「かながわトラストみどり財団」をご覧ください。

かながわトラストみどり財団

財団の様々な取り組みや自然環境にまつわる情報をお知らせしています。また、過去に開催の自然観察会や森林づくり活動の概要や感想なども掲載しています。これまでに参加したことのある方は思い出深い観察会や森林づくり活動の記録をぜひ探してみてください。

▼過去2年以上前の情報はページ右下の「アーカイブ目次」から



▼例えば…2014年開催のウォーキングイベントの内容も閲覧可能



YouTube

財団専用チャンネルで
動画配信中。

YouTube midori kanagawa

果樹の剪定や肥料の与え方などの講座や、泉の森緑地での野鳥観察など様々な動画を配信しています。外出自粛時、在宅などでのちょっとした気分転換にぜひ視聴ください。

▼楽しみながら役に立つ!こんな講座が楽しめます

「ウメ、カキ、モモなど実をたくさん
ならせる果樹の剪定講座」3講座



講師の神保賢一路氏の「かのこ環境大学」敷地内でウメやカキ、ミカンなどの樹木の剪定方法を学びました。公園や庭先などでよく見かけ、たくさんの果実を実らせる果樹の扱い方について解説しています。

「泉の森緑地・冬の水辺周辺で
野鳥観察」3講座



2021年2月に神奈川県泉大和市にある「泉の森」で野鳥観察を行った動画です。冬に観察できる野鳥を実際に見ながら紹介しています。講師は野鳥に関する調査や講演活動、観察指導など広く活躍される坂本堅五氏です。また、野鳥の観察方法についても解説しています。

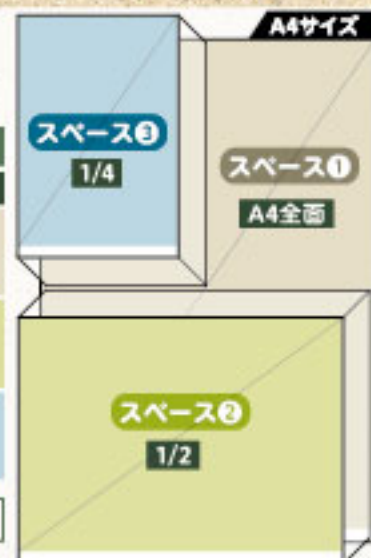
法人・団体会員様を紹介いたします!

法人団体会員など財団事業をご支援いただいている企業・団体様の広告を募集しています。日頃の社会活動をPRする機会としてご利用ください。掲載料は機関紙「ミドリ」の制作費の一部として使用します。

規格及び掲載料

規格	サイズ(幅×高さ)	掲載料
スペース①	全面広告 (180W×270H)	80,000円
スペース②	1/2広告 (180W×130H)	40,000円
スペース③	1/4広告 (88W×128H)	20,000円

年4回をまとめる場合は、3回分の掲載料でお受けしております



遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、遺贈を受けた新たな公益事業を行っています。遺言の財産受取人として、当財団をご指定いただけます。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10ヶ月)までに当財団へ寄附された場合、その寄附額の相続税が非課税となります。

寄附の事例

ご遺言 「県内の緑化活動に役立てて欲しい
(緑の基金事業への指定寄附)」

使途▶森林や緑地の維持管理における竹林整備のため竹屑砕砕機を導入、貸出事業を行っています。竹を削ってそのまま数ミリ程度に粉砕でき、マルチ材や堆肥などに活用できます。



ご遺言 「トラスト緑地の保全のために
(緑地保全事業への指定寄附)」

使途▶小割代の森等の自然再生活動や環境学習などに活用しています。

